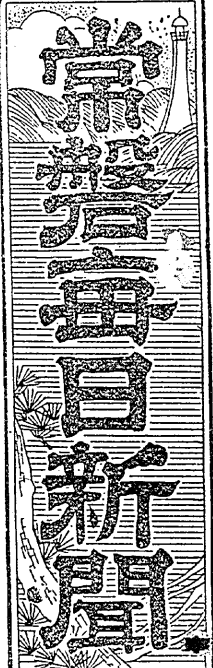
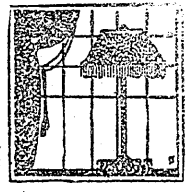


刊夕日一拾月貳拾



定価 一部金五銭 二部金五銭 五部金五銭  
 廣告料 五銭十二字 一行金五銭  
 日曜祭日の翌日休刊  
 発行所 常警毎日新聞社  
 電話 六三〇番  
 印刷所 常警毎日印刷株式会社



傳明に訊く  
座談會

出席者—  
 鈴木傳明 橋六郎 七郎 河田正 島田春雄 梅崎安彦  
 福島民報 本社

「何んやら今夜映畫座談會でも開きますが、幾人でも集めて良いですよ」  
 九日朝、社命で住吉屋に鈴木傳明氏を訪ねた時同氏はそんなことを提案して呉れた。無論喜んだ僕は早速理解ある同氏の御好意に甘へ、長友島田兄

「何年ぶりの歸郷ですか」  
 鈴木「震災の年に一度歸郷したきりです。以前僕が競争の激しい中學にバスした時、お祖母さんが非常に喜んで、先祖様にお禮詣りをするんだと連れられて来たことがありましたか」  
 D「最初は何になる希望でしたか」  
 鈴木「故郷の伯父達が政治家だつたので矢張り政治家になりたいと思つたこともありましたが」

て、随分お待ちになつて下さい  
 A「鈴木さんは泉村出身ですか」  
 鈴木「え、泉村下川出身です。でも僕は子供の時から東京で育つたんですが、在京福島縣人會では誰が云ひ出したのか僕が警中出身といふことになつてゐるので、よく石城の人に逢ふと『何回卒業ですか』と聞かれますが『さあ、大正七年でしたか』と答へておきます(笑)故郷のことですから反駁する必要ありませんから」

かよわい花  
 飯村 閑舟  
 山ふところにかこまれた丘の墳墓に枯れてゐたあの花は誰が手向けし花なるか



【朝】味噌汁—若芽 小付 ぜん豆  
 【晝】牛乳、トースト  
 【夜】糖果 フルーツ  
 【晩】湯豆腐 昆布し 花かつを 煮 付 鱈生姜おろし

祝 七五三  
 可愛いお祝靴色々取揃てあります。  
 御用命の程を……  
 六〇……… 貳〇〇まで  
 平町四丁目驛通り  
**菊地靴靴店**  
 電六五九

**外科**  
 門 專 光 X  
 科 線  
**上田外科醫院**  
 平町南町  
 電話一九二番

貸切の御用命は！  
 電話六四〇番  
**尼子タクシー**  
 是非お願いいたします  
 遠乗りには特に御相談に應じます

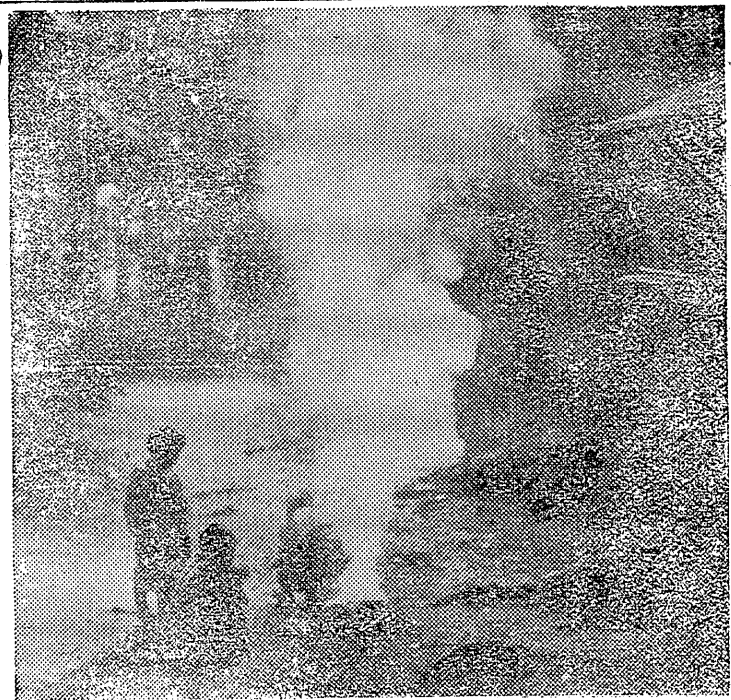
かまぼこ製造  
 杉本造  
 平町一丁目  
**不孫寅**  
 電話一四一番

意匠登録 第六三〇七八號  
 ▼本品は室内用、室外用の二種あり  
 ▼室内用は張方従来の通り生熟糊にてよろし  
 ▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし  
 ▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す  
 ▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり  
 ▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)  
 ◎定價 ▼室内用 六十錢  
 ▼室外用 八十錢  
 ◎室外用ノリ 一罐 二十錢  
 平町四丁目  
**夕伊勢屋 阿部商店**  
 電話四五番  
 ●賣弘め中粗景手拭一本呈上

夜 間  
**胃腸病**  
 内 科 專 門  
 胃腸病科  
 花柳病科  
 性病科  
 皮膚科  
**院醫科性病胃腸村松**  
 (番七〇一電町南町平)

是非！  
 御融通には御利用下さい  
 萬事便利な御相談に應じます  
**三井質店**  
 平四・電六〇六番

……落葉焼く子等の集ひ



### 湯本四倉間の

## 国道舗装採擇

### 地元縣議の建議案 昨日の縣會で

萩原、石川、草野の石城郡選出井上、野崎及び田子健吉等の六縣議は十日の縣會で頭に緊急建議案として湯本町より四倉町に至る延長五里の国道舗装實施を上げし先づ提案者を代表して井上氏が

第六號国道中湯本町より四ツ倉町に到る路線は縣下隨一と言はれるほど交通頻繁なる所にして朝の八時から夜の九時までの間に三分間に一臺の自動車が行き交ふといふ程の道路である。而してその

損傷も他に比して非常に多く如何に修理に次ぐ修理を以てしても容易でなく然も其の費用は莫大なるに達してゐると聞く故にこれが舗装を行ひ交通の圓滑を期せられんことを希望する次第でこれが本建議案の趣旨である

と述べ次で萩原縣議これが賛成演説をなし直ちに採決の結果満場一致可決となつた

### 平局通話擴張

平郵便局では来る十一日から栃木縣大田局と一通話五十銭

で十二日からは埼玉縣宮崎局と一通話四十五銭で市外

通話擴張する

### お嬢さんは

## 何雑誌がお好き

### 何んと第二位は少女俱樂部 磐女の愛讀雜誌調べ

磐城高等女學校では全校生徒の思想調査の前提として生徒が愛讀する雑誌を無記名で各自から報告せしめたところ左の如くで斷然少女俱樂部が壓倒的多數を示し一般的に娛樂雜誌、婦人雜誌等が多數を占めてゐるが中には改造、中央公論を讀んでゐる制服の處女も數名あつた、なほ高學年より低學年の方が雑誌を好んでゐる傾向がある

婦女界各三〇 子供の科學 若草 講談俱樂部 文藝春秋 日の出 改造 家庭中央公論等に各五、六名位

第二校体操會 平第二小學校は来る十三日全學

### 年賀状はお早く

## 立看板も物々しく

### 平局宣傳に大童へ

少女俱樂部五〇三 少女の友一二四 主婦の友六四 キンギ五一 婦人俱樂部四八 少女畫報三八 婦人公論三五 令女界、

平郵便局では年賀郵便のシーズンも迫つたので近く平町市内各小學校に年賀状は早くとの宣傳ビラを依頼し

兒童が歸宅の際持參せしめて各家庭へ直接宣傳を行ふが更に立看板ポスター等も到着したが明日から市内要

## 高麗橋を中心として

(33)

### 眞木翁の懷古事談

いふ程の事もなく、米澤兵に到つては大に奮戦はしたものの、前途を見越したのか、大切の時に早く引上げ城に遂に陥落、父は老藩公の後を追ふて北行したが、途中より命を受けて、福島藩の軍議局詰となり、専ら他藩の折衝に任じた米澤藩は

### 縣下兒童畫展

#### 第一、二校の 入賞者氏名

平町第一、第二兩小學校は明日十二日過般福島師範附屬小學校に於て開催された第三回縣下兒童圖畫展覽會に入賞した左記兒童の賞狀傳達式を舉行する

▲第一 二年小齊幹夫  
五年新妻幸男 同折笠直彦 六年鈴木將夫 ▲第二 二年草野トシ子 同佐々木雅子 五年櫻庭美代子 六年高橋澄子

### 研誼會の 忘年素談

觀世流研誼會は十二日午後六時から平町五丁目吉田屋樓上で開くが番組左の如し  
高砂 忠度 東北弱法師 鞍馬天狗 ▲番外獨吟連吟

### モダン電話簿

#### あす加入者へ

仙臺逓信局に於て本年八月一日現在で製作中であつた本縣下各局の新電話番號簿は昨日平局に到着し明日から加入者に無料配布されるが新番號簿は四六版に近い大型で見易く表紙も美麗なカット入りのモダンなものである、尙一般の希望者には賃費十二錢を局宛に送れば送付する

田中家の寄附 平町二丁目越の家こと田中トキ

合従連衡の清算残りは、移封の問題だ、當時略確定し居つたのは、莊内藩が磐城へ来て、平藩は陸中の東磐井へ、移らねばならぬ事であつた、禾穀種々たりとはいひ、早寒の莊内から暖地の石城へ来るのは良いとしても、此東磐井は北上川の左岸で、東山四ヶ村と稱し、千厩を中心とした三十五ヶ村許りが、我新領地と見做されたのだ、上州高崎備中高梁(松山)美濃加納寺物資豊富な暖地、より磐城に來てそれも住馴

合従連衡の清算残りは、移封の問題だ、當時略確定し居つたのは、莊内藩が磐城へ来て、平藩は陸中の東磐井へ、移らねばならぬ事であつた、禾穀種々たりとはいひ、早寒の莊内から暖地の石城へ来るのは良いとしても、此東磐井は北上川の左岸で、東山四ヶ村と稱し、千厩を中心とした三十五ヶ村許りが、我新領地と見做されたのだ、上州高崎備中高梁(松山)美濃加納寺物資豊富な暖地、より磐城に來てそれも住馴

さんは亡母マキさんの達志により九日平署人事相談所に十五圓を寄附したこの外左記各所へもそれ〴〵寄付した

訓盲院十五圓、消防組十圓 防組合十圓、消防組十圓

平町 出生  
△古鍛冶町七 見瀧一男氏 三男磐男さん  
△鎌田三一 佐藤芳太郎氏

### 市原醫院

平町 田町 電話一四四番

七女數子さん  
△北目九 和田久次氏四男 篤天さん  
△新川町三三 當時東京市小石川區竹早町一四廣川幸吉氏二女マサヨさん (十四)

れて、早や百餘年の平藩が更に奥地で交通便しかも冷温の歳には常食の粟も稗も登らず、蕨の根を掘つて第一の食糧とする土地なりと聞いては、君臣上下は一大悪夢に壓はれて、前途の不安に懼のいた、父は莊内と呼籲して舊領安堵の策動の密旨でも受けたのであらうか、日記には、唯路銀受取の事のみが記入された丈で委細は不明だが、兎に角一月下旬に、獨り仙臺を發して莊内行であつた。

# ぬれ衣の罪に泣く女 無情の夫に離縁され

## 兄夫婦を相手取って平署へ告訴

### 死者の枕金を廻る怪聞

鹿島村字米田農高萩祐七（八）は息子にも秘密に貯めた六十圓の金を常に肌身離さず所持してゐたところ去る九月二日死亡したが問題の金が何時の間にか消えて影も形もないので遺族達が騒ぎとなり醜い争ひを續けてゐたが玉川村南富岡坂本平太に縁づいてゐる一枝の娘チヨ（四）が見兼ね下手人の役を買って出て右金額を嗣子である兄の高萩祐七（五）に辨償することとて一先づ解決したところ今度は「死人の枕金を盗む女を妻にして置けない」として夫平太

### お客の泥酔に乗じ 暴利を貪る辣悪さ

#### 酌婦と経営主が共謀して

一杯喰つた炭礦主  
連に與へ更に残金は着服したのを發覺、平署の取調を受けたが客に遊興を強るばかりか主人の西牧は三平が呑まぬ酒代まで領收證に記載して請求してゐたので營業者と抱え女が共謀の極めて悪質な營業振りだと平署では非常に憤慨して嚴重處分する事となつた

### 研究教授

#### 第一方面で

第三區第一會の研究會は今十一日午前八時半から第一小學校で開き自由參觀後中村訓導の算術、根本訓

### 人妻・不義の道行

#### 「愛見だけは引取りたい」と

夫から平署へ搜索願  
勿來町大字出藏二〇大日本炭礦坑夫數見孝雄妻ハル（三）は最近夫の眼を盗んで近所の同村坑夫中野春壽（三）と不義を續けてゐたが去る一日夫孝雄の入坑中長女ヤエ（五）長男孝（三）を連れ貯金百餘圓衣類數十点を所持して春壽と墮落平町方面に行方を晦ましたが夫は不貞の妻は兎も角愛見二人は手放せぬと十一日平署へ取捕へ方を願出た

### 宙に迷ふ

#### 召集令狀 怠け者に科料

石城郡内郷村大字宮字瀧一  
九渡邊直吉氏方炭礦運搬夫後備兵役陸軍歩兵永戸徳郎（三）は去る四年八月頃より肩書地に居住してゐながら本籍地相馬郡新地村役場に現住所を届出ぬ爲め昨年六月福島縣隊區より通報された勤務演習の召集令を宙に迷はしめ兵役法施行規則違反として科料十五圓に本日平區裁判所に於て略式命令を以て處分された

### 年期的明け

#### 娘を戻さぬ主人 病床の親が平署へ泣付く

仙臺市名掛町一二中道佐吉長女カネヲ（三）は大正十五年春前借五百圓で小名濱町藝妓屋吉田はま方に五ヶ年間の藝妓奉公に住込んだが最近佐吉が中風を患ひ家計困難になつたので前記藝妓屋へ年期的明けた娘を戻して呉れと掛合つたが雇主が言を左右に應ぜぬので佐吉は雇主を説諭してくれと平署へ嘆願して來た

### 包装の粗悪から 賣行に影響

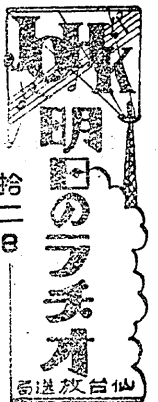
#### 郡産菜種の移出増加に 平穀検で改善計畫

平穀物検査所で昨年七月より移出検査を行つて居る菜種は品質改良の結果益々増加して茨城群馬方面に移出されるものも一年一萬俵に上つてゐるが本郡菜種の包装は朝鮮米の古俵を使用して居る爲め外観が悪く他縣での取引には非常な不利にあるので同所では是が改良策として近く郡下農事實行組合一般農家に對して菜種用俵の製造を奨励し製品は來年一月一日はり四月末日迄に平、大浦、植田各農業倉庫で四千枚を一枚十七錢の相場で購入し郡産菜種包装の面目を一新して移出増加を圖ることになつた

### 一家亂闘

#### 十九日公判

過般平區裁判所關口判事及び清田檢事が吉田書記と共に門傳辯護士同道實地檢證を行ひ現場に於て各關係者の取調べを行つた高久村大字下高久字前ノ内農鈴木太吉一家の亂闘事件の長男定彌（六）次男房吉（四）兩名に係る傷害事件の公判は來る十九日午前九時開廷



今晩も明日も北  
西の風晴曇半す

後九、三〇時報  
氣象通報 番組預告  
明日の部  
前七、〇一實用文講座  
（二）六金子彦二郎  
前七、三〇聖典講義（十）  
文學博士 長井真琴  
前八、〇三〇家庭講座  
「年賀狀の書き方」跡見李  
子  
後八、〇五和洋合奏 松  
竹管絃樂團  
後八、〇〇 婦人の時間  
木村莊八

後六、〇〇 子供の時間  
童謡と唱歌 宮城縣若柳  
小學校兒童  
後六、二五基礎英語講座  
（三）岡倉山三郎  
後七、三〇講演「天明天  
保年間を中心とする仙臺  
地方の飢饉」第二高等學  
校長阿刀田令造  
後八、〇〇 校歌と應援歌  
明治大學合唱團  
後八、二〇 獨唱レヴェー  
主題歌 水の江瀧子外  
後八、四五 忠臣藏 週間  
竹本綴太夫





# 明治太平記

(無断翻載 上映及上演)

(作) 寺島証史  
(畫) 野口紅涯

## 第九回

### ザンギリ頭 (九)

副島の長廣舌を、じいッときいてをつた大志賀は、そのとき色褪せた黒木綿素裕の肩を怒らして反意を示した。

「だん／＼の説教、よくわかつた。なれどもこの大たぶさをぶち切つたのは、おぬし等のザンギリ頭に倣うたのではなく、いよ／＼益々、その文明開化に反抗するためなンぢや」

「ほう」  
「こ、この大たぶさが元々通りに生へるまでに、きつと明治新政府を倒して見せるといふ、われとわが身に賭たのぢや」

「……」  
「副島、君の忠言ありがたくうけるが、とうていそのザンギリには成れぬよ……」

さびしく笑つて、くるり踵を返した。その丸腰のみすぼらしさ、副島は二度と引止めることはできなかった。

十 十  
敷寄屋河岸の橋のたもと  
のひよろ／＼柳の下かげに  
立つてじいと黒い水面

入つてゐる女がある。  
黄八丈の襟垢のついた裕に黒縞子の帯といつた、はなはだ夏向でない身振りいづればこれもまた時勢から置去られてきのふけふ、飯の料にも有付けぬたぐらう。だが、それでゐてど



叩くやうに聲をかけるものがあつた。  
「君」  
いやに官僚臭味な、そしてまた辻君に云ひ寄るに、薄暮のこた。女はちよいと微笑むで足を停めた。  
「おい、君」  
「え」  
そこで、やつと、おもはせぶりに振りかへつた。呼びとめたのは講武所風な武骨男ではなく、すらりとした背格好に立襟のサツクコートを粹に着込んで、コスメチックで、てか／＼光る

ここに水々しい、肉豊かなかんのするの、まだうら若い女の特性か……  
夕ぐれ、かすかに川風が匂ふばかりにそよいで、髪のはつれ毛を弄んだ、女は所在なさそうに、柳の下かげを二三歩はなれたとき、背後からその撫肩をかくく

断髪に山高帽子をちよいとのせ、エナメル靴に細身のステッキといつた。あつぱれ船載上等の仕込み、面長な顔に、わざと濫顔つくつて近づいてきた  
「なにをそんなにくよくよしてゐるのさ」  
船載上等男として急に

ぐいとくだけた物の言ひやうたぶんやはら辻君とおもつて接してきたものだらう  
女はふたゝび微笑むだ。  
「あんまり、たよりない、うき世なんですもの……」  
「ほう、うき世といふたねなるほど、うき世、苦の世界か……したが、をんなおまへはする分きれいだなアそれでたよりないとは云はさんぞ」  
「だつて、けふが開業、場所馴れをしないものだから……」  
女は俯向いて駒下駄にのせたじぶんの紅貝のやうな素足に見入る。  
「開業、つまり辻君の……なるほど、では、僕が最初の素見客といふわけかね」  
「まア、いはゞそんなところ」

七五三子供服!!  
開店してまだ日の浅い……  
ハヤシの思ひ切つた大奉仕  
實質的高級品新型……  
お祝用 男児用洋服。オーパー  
お祝用 女児用洋服。オーパー  
特 價 奉 仕!  
其他  
女學生用オーパー 婦人用コート  
男女通學服並にオーパー  
豊富取揃て有ります  
是非當店に御用命の程を……  
平・三丁目角(マルトモ向)  
ハヤシ 婦人洋服店  
子供洋服店

小學生用 (長ズボン付)  
A ..... 90円  
B ..... 1.10円  
特製品 ..... 2.35円  
中學生用  
特製6號 ..... 3.50円  
御注文 (特上) ..... 6.30円  
ふかや洋服店 平電 203

黒小倉通學賣出  
一望秋色  
さあ御召替です  
みかやには皆様の御満  
足の得る品が何時も澤  
山御座います

◎通學用金釦外套賣出し  
正  
中 等 最 上  
生 外 套  
一二年 ..... 八圓五十錢  
二三年 ..... 九圓  
四五年 ..... 九圓五十錢  
小 學 生  
外 套  
黒 ラ シ ヤ  
一 年 ..... 四圓四十錢  
二 年 ..... 四圓七十錢  
三 年 ..... 五圓  
四 五 年 ..... 五圓五十錢  
△紺ヘル金釦服一年用三圓四十錢  
△男子子供オーパー種々荷揃  
店服洋堂札正  
番 六 三 四 電

完全燃焼の爲め  
煙筒掃除の要無き  
日本一の……  
フクロクストーブ  
御申越次第カタク持參御伺ひ致します  
發 賣 元 前  
阿部石炭商店  
電話 三 七 番

耳鼻咽喉科専門  
鈴木 醫院  
醫學士 鈴木 正 男  
平町田町(電話五八番)  
藤田女學校前  
入院のお需めに應ず  
自炊の便あり